

今も昔も変わらない
この一杯



はばのりを入れたお雑煮

SUNムシくんグルメレポート
⇒P25へ

市

民の皆様明けましておめでとうございます。心から新春のお慶びを申し上げます。

山武市は、平成18年3月27日、三町一村が合併し、今年10歳の誕生日を迎えます。この間に未曾有の東日本大震災を経験いたしました。市民の皆様の団結により困難を乗り越えることができたことと感謝申し上げます。

昨年はおしなべて平穏な一年であったと思いますが、アベノミクスによる景気の押し上げも未だ地方に波及せず、消費税率の引き上げなどにより市民生活も厳しい状況が続いています。

その中で山武市の明るいニュースとして、文部科学省による「松尾高校のスーパーグローバルハイスクール」指定がありました。全国で百校余が指定を受け、グローバルな時代に世界に羽ばたく人材を育てる高校として挑戦することになりました。このことは松尾のまちづくりと不可分のことです。10月にオープンした新しい松尾交流センター洗心館と相まって、松尾高校生の若い力が松尾の町の活気を取り戻す新しい風になると期待しています。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて山武市は全国の自治体の先頭を走っています。スリランカ選手団の事前キャンプの受け入れ決定から、さまざまな形でスリランカ国との交流が始まりました。オリンピック選手による講演会、青少年の相互交流、政府研修員の受け入れ、松尾交流センター洗心館のお披露目イベントへのスリランカ舞踊団の出演、道の駅オライはすぬまではスリランカコーナーが設けられました。聖火リレーのプレイベントと目される「未来（あした）への道1000km縦断リレー」は山武市を通るルートに変更され、蓮沼でイベントも行われました。このような山武市の取り組みは全国の自治体の注目するところとなっています。

さて、このような取り組みが進む中、国においては「地方創生」を中心的な政策の一つと定め、これから数年間、地方自治体は地域間競争に入ります。山武市は昨年10月に「山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定し、今年から本格的な展開を図ってまいります。成田空港圏の一員として、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、「育てる」をキーワードに、

1. 地域の魅力と誇りの創生
2. グローバル人材を育てる力の創生
3. 出産・子育て支援および高齢者福祉の担い手を育てる力の創生
4. 地域経済を育てる力の創生

これらの四本の柱を立てて、暮らしやすい、活力に満ちた地域づくりを進めていくことにしています。

今年も市民の皆様が幸せに暮せますよう一生懸命に努めてまいります。



市長 推名 千収

年頭のごあいさつ

明

けましておめでとうございます。

市民の皆様には家族そろって、お健やかに平成二十八年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風18号の通過に伴う記録的な豪雨による鬼怒川の決壊など自然災害の恐ろしさを再認識させられた一方、2年連続で日本人がノーベル賞を受賞し、ラグビー日本代表が歴史的な勝利をあげるなど明るく誇らしい話題もありました。

本市におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるスリランカ国の事前キャンプ招致が決定し、同国と本市の青少年の交流事業などを行いました。また、議会としてタブレット端末を導入しICT化を図るなど、未来に向けた活動に取り組んでおり、市議会が果たすべき役割を自覚しながら、市民の皆様が希望を持って安心して生活していけるような山武市づくりをしてまいりたいと考えています。

市政を取り巻く社会経済情勢は、依然として予断を許さない状況だと思われませんが、市議会といたしましても、市民の皆様の生活を守るために、時代の流れを的確にとらえた議会運営に努めるとともに、さらなる議会の活性化に取り組み、皆様の声を市政のさまざまな分野に十分に反映させ、諸問題の解決に最善を尽くしてまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、本年も山武市議会になお一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



議長
宍倉 弘康